



国際環境NGOグリーンピース・ジャパン
2025年7月31日

『国際プラスチック条約に関する意識調査』

<調査方法>

対象：全国1000人を対象に18～69歳および70代以上男女で10代刻み

地域：すべての都道府県

方法：グリーンピース・ジャパンが楽天インサイト株式会社に委託してオンラインで実施

時期：2025年7月15日（火）～2025年7月17日（木）

有効回答数：1000人

<調査結果>

1. プラスチックの健康への悪影響について、どの程度懸念しているか聞いたところ、「ある程度心配」と答えた人が最多の39.1%で、「非常に心配」17.1%と合わせると、心配している人は合計56.2%となった。一方、「どちらともいえない」と答えた人も21.2%いた。

Q1. マイクロプラスチック（大きさが5mm以下の微細なプラスチック粒子）が、最近では母乳や脳など体内からも発見されています。プラスチックの健康への悪影響について、どの程度懸念していますか？

■非常に心配している ■ある程度心配している ■どちらともいえない ■特に心配していない ■まったく心配していない



2. プラスチックの気候変動への影響について、どの程度懸念しているか聞いたところ、「ある程度心配」と答えた人が最多の41.3%で、「非常に心配」18.1%と合わせると、心配している人は合計59.4%となった。一方、「どちらともいえない」と答えた人も22.1%いた。

Q2. プラスチックは、原料となる化石燃料の採掘や製造時および廃棄段階で温室効果ガスが排出され、気候変動を悪化させる一因となっています。プラスチックの気候変動への影響について、どの程度懸念していますか？

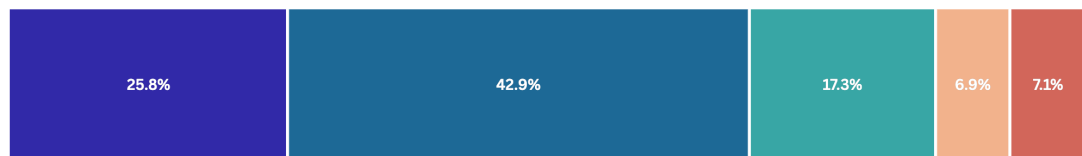
■非常に心配している ■ある程度心配している ■どちらともいえない ■特に心配していない ■まったく心配していない



3. プラスチックごみによる生物多様性・汚染への影響について、どの程度懸念しているか聞いたところ、「ある程度心配」と答えた人が最多の42.9%で、「非常に心配」25.8%と合わせると、心配している人は合計68.7%となり、「特に心配していない」6.9%、「まったく心配していない」7.1%を大きく上回った。

Q3.プラスチックごみは毎年約800万トンも海に流出していると言われていますが、海への流出だけではなく、陸地での不法投棄や環境流出も問題となっており、地域の生物多様性の損失や汚染を引き起こしています。プラスチックごみの環境への影響について、どの程度懸念していますか？

■非常に心配している ■ある程度心配している ■どちらともいえない ■特に心配していない ■まったく心配していない



4. 世界的なプラスチック汚染問題について誰が責任を負うべきだと思うか聞いたところ（複数回答可）、「プラスチック製品を製造・販売する企業」と答えた人が最多の43%で、「プラスチック製品を購入・使用・廃棄している消費者」41%よりわずかに多かった。次いで「政府や自治体」と答えた人が36.6%だった一方で、「わからない」と答えた人も27.5%にのぼった。

Q4.このようにプラスチック汚染は世界的な問題となっていますが、この問題の解決のために誰が責任を負うべきだと思いますか？（いくつでも）

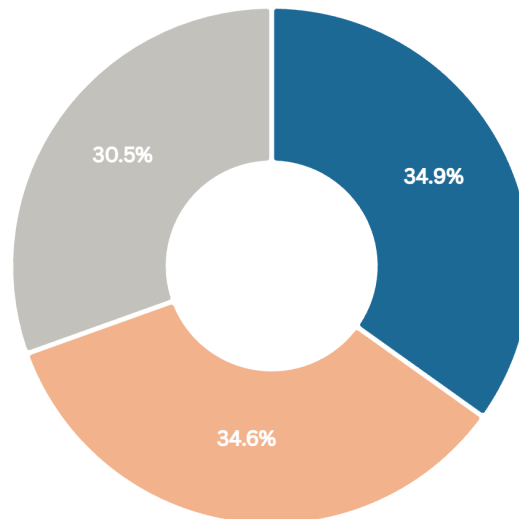
- プラスチック製品を購入・使用・廃棄している消費者は、率先してプラスチックの使用を減らし、可能な限り持続可能で環境に優しい代替品を選ぶべきだと思う
- プラスチック製品を製造・販売する企業は、使い捨て容器包装を使わない製品を提供する、プラスチック廃棄物を最小限にするために製品を再設計する、環境中に流出したプラスチックごみの責任を負う、などの行動を通じて、プラスチックの削減に率先して取り組むべきだと思う
- 政府や自治体が、有害なプラスチックの禁止、プラスチック生産の規制、プラスチック条約のような国際条約の支持、ゴミが出ない循環型経済システムの導入などの政策を率先して進めるべきだと思う
- その他
- わからない



5. 個人や家庭でプラスチックごみを減らす努力をすれば、プラスチック問題は解決できると思うか聞いたところ、「思う」と答えた人が34.9%で、「思わない」34.6%とほぼ同じ割合だった。

Q5.個人や家庭でプラスチックごみを減らす努力をすれば、プラスチック問題は解決できると思いますか？

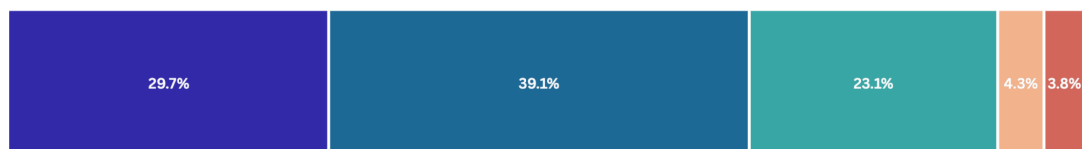
- 思う
- 思わない
- わからない



6. プラスチックの生産量が2050年までに約3倍増えると言われていることを背景に、プラスチックの世界生産量を削減するべきと思うか聞いたところ、「削減するべきだとある程度思う」が39.1%で、「削減するべきだと強く思う」29.7%と合わせると、削減するべきだと思う人は合計68.8%となり、「削減するべきだとあまり思わない」4.3%、「削減するべきだとまったく思わない」3.8%を大きく上回った。

Q6.プラスチックの生産量は、このままだと2050年までに約3倍増えると言われています。プラスチックの世界生産量を削減するべきだと思いますか？

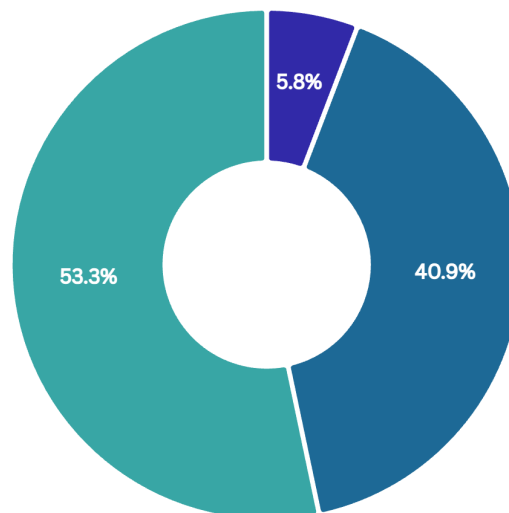
- 削減するべきだと強く思う
- 削減するべきだとある程度思う
- どちらとも言えない
- 削減するべきだとあまり思わない
- 削減するべきだとまったく思わない



7. 現在、プラスチック汚染を終わらせるために国際条約を策定する会議が行われていることを知っているか聞いたところ、「まったく知らなかった」と答えた人が最多の53.3%、次いで「詳しく知らないが聞いたことはある」が40.9%となり、大多数の人が同会議について詳しく知らないことが分かった。

Q7.現在、プラスチック汚染を終わらせるために国際条約を策定する会議が行われていることを知っていますか？

- よく知っている
- 詳しく知らないが聞いたことはある
- まったく知らなかった



8. 国際プラスチック条約の実現は、どの程度重要だと思うか聞いたところ、「ある程度重要」が41.8%で、「非常に重要」29.2%と合わせると、重要だと思う人は合計71%となり、「あまり重要ではない」4%、「まったく重要ではない」4.1%を大きく上回った。

Q8.プラスチックの原料採掘から製造、使用、廃棄まですべての段階で規制を導入し、使い捨てから繰り返し使うリユースなどへの移行を促す国際条約が誕生すれば、プラスチック汚染を大きく抑制することができます。国際プラスチック条約の実現は、どの程度重要だと思いますか？

- 非常に重要だと思う
- ある程度重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- まったく重要ではないと思う

